

42・コロナ休園から再開へ

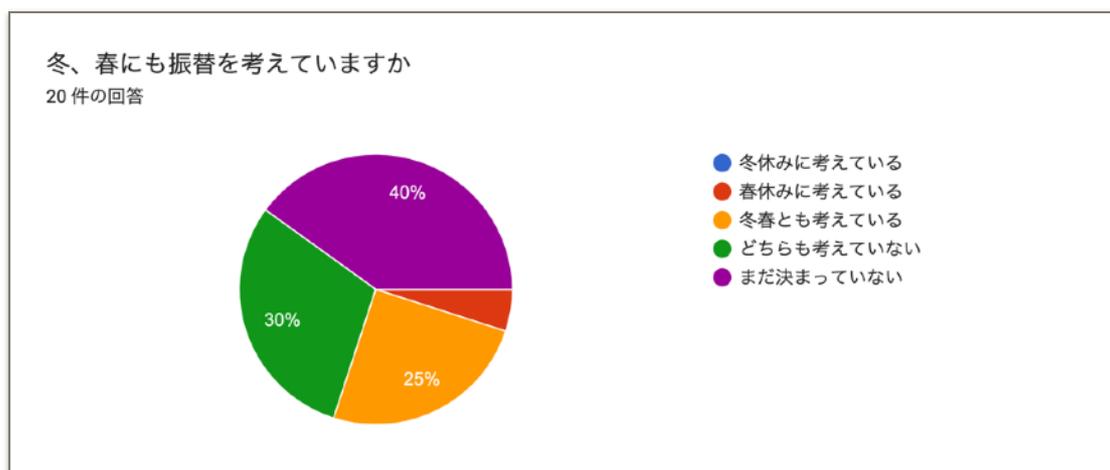
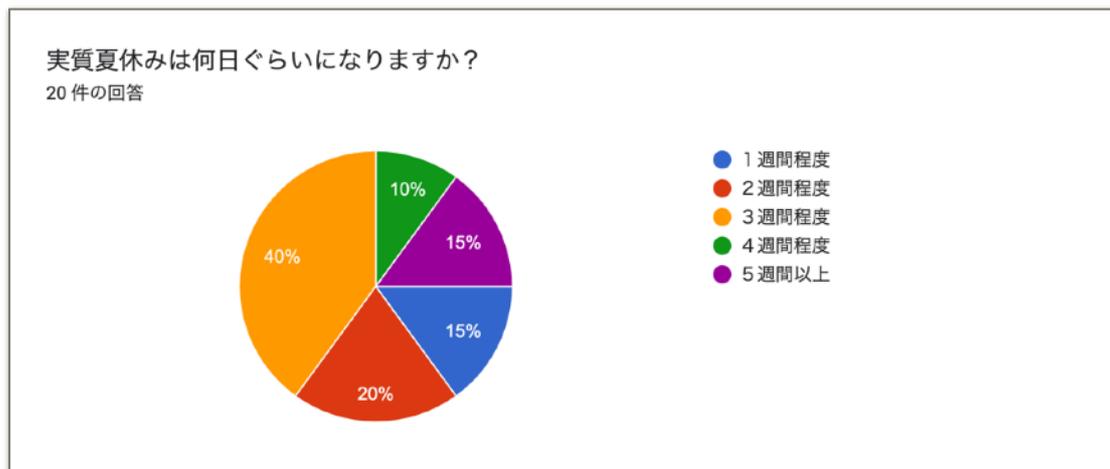
原町幼稚園園長 鶴谷主一（静岡県沼津市）

前回は、コロナ休園までの経緯と休園中に
行ってきたホームカリキュラムについて
レポートしました。今回はその続編になりま
す。前回の原稿が5月末〆切でしたので、送信
した翌日（6/1）から平常保育が再開されたの
でした。

前回も書きましたように、私立の幼稚園・こ
ども園は行政からの要請はあっても強制力は無
く、基本的には各法人で対応を決めるため、再
開時期や方法、夏休み期間の扱い（教育日数）
などは文科省から発出されるコロナ対応の文書
に沿って決めていきます。

ちなみに、幼稚園の教育日数は、年間で39
週を下回ってはいけないという規程がありま
すが、「柔軟に考えて良い」という通知が出され
たため、どの園も同様に約2ヶ月休園したけど
振替についてはかなりバラツキがあります。教
育日数確保にウエイトを置くか、感染予防にウ
エイトを置くか、各園の考え方が見えてきま
すね。逆に「市からの文書は毎回判断を委ねら
れて困惑している」との意見も園長から出て
いて、保護者や教職員と板挟みになって、園長一
人でコロナ対応を決めていかなければならぬ
重圧も感じていたようでした。

◆沼津市内20園の夏休み期間アンケート



◆より詳しく結果を知りたい方はこちら <https://forms.gle/NXgxG1M3kq4TnVmc7>

以上のことを踏まえて、一例として原町幼稚園の対応をレポートしていきます。

登園再開のお知らせ

2020.5.18.原町幼稚園 園長 鶴谷圭一

分散登園で段階的にはじめます

やっと幼稚園を再開できる目処が立ちました。まだまだ状況によって変更はあると思いますが今の段階で再開についてお知らせできることを嬉しく思います。自宅で我慢の多かった子どもたちですから、再開したらとにかくいっぱい遊んでもらいます！子どもにとって遊ぶことは食べることと同じくらい心身の発達にとって必要不可欠なものです。だから、約2ヶ月のブランクを経た子どもたちの発達も心配です。

ここから新学期が始まるので、私たちも子どもたちの成長をしっかり見ながら急ぎすぎずに…でも3月までには例年通りの子どもたちの発達を保障すべく、工夫をしながら園生活をスタートさせていきたいと考えています。前向きに考えましょう！今までにない新しい一年の始まりです！

園での感染予防は後半に記載してありますので、通園に不安を感じたときは保護者の判断で出席停止を続けて頂いても結構です。6月にお休みする方は5/22までに連絡アプリの「幼稚園への連絡」をお願いします。月単位の出席中は給食費、バス代はかかりません。

休 園中は、入園式、始業式以来会えていない子どもたちとの繋がりをどう作っていくか試行錯誤とできることを探す毎日でした。その中でテレタイムやYouTube、キッズリーナーでの担任との時間を持って頂きありがとうございます。もともと保育がしたくてこの仕事に就いた先生たちですから、子どもたちに会えないつらさを抱えながらも皆様からのレスポンスを励みにしながら続けていました。皆さんの家庭でもご苦労された面があったと思いますし、逆にたっぷりの“おやこんぼ”時間を過ごせて家族の絆が深まったという話もあると思います。〔げんきっこ〕の活用もありがとうございました。「タイヘンだったねー、でも楽しいこともあったヨ♡」なんて話をワイワイ喋れる時が早く来てほしいと心から願います!!

さ て、園再開にあたって保護者の皆さんと共有しておかなければならないことがあります。緊急事態宣言が解除されたとはいえまだ感染リスクは残っています。『**幼稚園に登園させるということは感染リスクもある**』という事実です。

幼児にとって信頼できる大人や友だちとふれ合い、実体験によって経験値を重ねていくことが発達につながるの、学校のオンライン授業のような形は年齢からいって無理なのは皆さんもご承知のところ。たとえば「なかよくしましょう」と先生に言われて知識をインプットしたとしても実際はわかっておらず、実際に友だちとケンカをして仲直りしたとき、みんなの気持ちが同じ方向に一致したときに感じる「これが仲良くするってことなんだ」と理解したときにほんとうの経験値になり得るのです。それが幼児の発達の仕方です。

な ので、幼児を家に閉じ込めておくことは発達機会を逃すことになり、登園すればある程度の接触が発生することは避けられません。そこをご承知頂いた上で、通園させて頂きたいと思ったり、お互いに感染させないために家庭での感染防止もとても重要になります。残念ながら100%の予防はあり得ません。もし発生した場合でも誰かのせいにするのではなく、冷静に受け止めて適切な処置にエネルギーを注いでいきたいと思ったり、対すべきは人ではなくウイルスなのですから。

再 開当初の園生活は、まずはクラスと担任の先生と顔合わせして、クラスの友だちを再確認するところから始めていきます。

★年少組：ウォーミングアップをもう一度やる気持ちでスタートします。担任の顔を覚えてもらって、クラスの持ち物の位置の把握や、園生活のリズムを定着させていきます。

★年中組：同じように、新学期が始まる段取りを踏んで、新しい友だち関係や先生との関係を構築していくことに力を入れていきます。

★年長組：エネルギーが有り余っていること、運動不足も心配ですので、その解消を心がけながらお泊まり保育への活動なども少しずつ入れていきます。

4. 5月できなかったカリキュラムの実施

- ・こいのぼり製作→6月に実施予定です。
- ・母の日・父の日プレゼント製作→1学期末に持ち帰れるように取り組みます。

具体的な計画

5月中は午前保育、AB分散登園を実施します

A登園日=つき・ゆり・いちご・うさぎ組			B登園日=ほし・ばら・めろん	
月	火	水	木	金
5/18 休園→	19	20	21 午前保育 A登園日	22 午前保育 B登園日
25 午前保育 A登園日	26 午前保育 B登園日	27 午前保育 A登園日	28 午前保育 B登園日	29 午前保育 全員登園
6/1 平常保育 給食開始	2	3 弁当日	4	5 4,5月誕生会

《服装について》

- ・分散登園の服装は、全園児遊び着、体操ズボン+カラー帽子で登園して下さい。
- ・6月から、キャラTorポロ、体操ズボン、麦わら帽子で登園になります。
(年少さんは麦わら帽子納品次第カラー帽子から切り替えます)

《送迎と園バスについて》

- ・保護者送迎は今までと同様ですが、園庭・駐車場での密な立ち話は避けて下さい。
- ・保護者は園内には入らないようお願い致します。
- ・バスの運行は平常のコースを走ります。乗る人数が少ないので若干早く着くこともありま
- す。
- ・バスに乗るときは基本的にマスク着用をお願いします。
- ・感染予防でバスをキャンセルされる方は、各自送迎して下さい→バス不要連絡必要
(バス代は5月分はいただきません)
- ・6月にバス通園をキャンセルされる方は、登録内容変更届が必要になります。
5/26までにご連絡ください。

《預かり保育・あそびっこについて》

- ・あそびっこは仕事を休めない方、医療・社会インフラに従事している方を優先に、家庭の事情で必要な方のみご利用下さい。利用される方はお弁当持参

- ・登園日で無い日にあそびっこを利用の園児は、クラスとは別に朝からお預かりします。園バス利用者は乗車可能です。あそびっこの申込と同時にその旨もご連絡ください。（連絡が無いとバス停を飛ばしますので注意下さい！）

《感染予防について》

■家庭での対策

- ・検温カード&門での手指消毒を今まで通り実施。
- ・平熱が高い子どもは37.5度、低い人は37度を目安にお休みをお願いします。
- ・熱がなくても咳や鼻水がいつもより多い場合、だるそうにしている、腹痛など体調不良がある場合は登園を控えてください。
- ・家族にも、発熱や体調不良がないかご確認ください。
- ・家族の行動履歴を把握しておいて下さい。（行動履歴カードをご活用ください）
- ・子どものマスク着用は、咳や鼻水が出ているときは必須。それ以外は任意です。
- ・外で遊ぶとき、運動するとき、暑いときはマスクは外すように促します。
マスク着用する場合は記名をしっかりとして下さい。
- ・職員も同様に予防対策を行います。マスクは表情を見せる必要があるときや、外での活動時は外すこともあります。

■園での予防対策

- ・保育園との交流はお泊まり保育以外は行いません。（とりあえず1学期中）
- ・活動や行事は極力3密を避けて行います。
- ・保育室は開放を基本とし、換気をしつつ、ドアや窓を閉める必要があるときは次亜塩素酸水・アルコールでの噴霧、消毒をまめに行います。
- ・子どもに、うがい手洗いの習慣をつけていきます。
- ・過度にこども同士の接触が見られる場合は距離をとるように促します。
- ・フリー職員が定期的に接触場所の消毒&拭き取りをしていくとともに、保育後の保育室、おもちゃなどは次亜塩素酸水もしくはオゾンにの一定時間の噴霧により殺菌を実施します。（保育室には光触媒を施工してありますので+紫外線電球活用なども行います）

◎園で感染者、濃厚感染が発生したときは、当事者のプライバシーを尊重しつつ必要な情報を迅速にお伝えします。慌てて噂や不確かな情報を拡散しないようご注意ください。（園の閉鎖、公表については保健所や市の対策課と相談の上ケースバイケースで行います。）

《給食について》

◎給食のスタイルは大きく変わります！

数クラスでサンカフェに出向くことをやめ、各クラスで間隔を開けて昼食をとります。
幼稚園に食器を洗浄保管する設備がないことと、
他の人の食器に触る機会を減らすために準備をお願いします。

▶給食の日は、空のお弁当箱、お箸セット、コップおしぼりを持たせてください。

- ・ごはん、おかずを各々のお弁当箱に職員が配膳しますので
弁当箱にごはんとおかずが3～4品入るように13cm×18cm×5cm以上が理想です。
できれば細長いものは避け、四角いものをお願いしたいです。タッパでも構いません。
- ・記名は弁当箱のフタと本体の両方、お箸などにもお願いします。
- ・汁物は園のおわんを使います。

※以降「今後の予定」は省きます。

6 月からの園再開後は、上の園便りでお知らせしたことを、さほど変更せずに8月末迄の3ヶ月間順調に活動を進めることができました。沼津市自体に感染が広がっていないという幸運や、教職員や保護者の皆さんの健康管理にも支えられたことは言うまでもありません。

- ・ 毎日の検温カードの提出
- ・ 入園の際の手指の消毒、日々の手洗い
- ・ 教職員の体調チェックと検温
- ・ バス車内のマスク必須と指定席
- ・ 外来者、保護者の入園制限
- ・ 毎朝、放課後の除菌作業・・・などなど

□ コロナ前と比べてやる作業が増えました。感染予防はもちろんですが、園内でコロナ感染が発生したときの誹謗中傷や風評被害がおこることも恐怖なのです。これはどの園もどの施設も同じだと思いますが、職員も園から感染を発生させてはいけないとプライベートでの生活もかなり気をつけて過ごしています。

再 開してから、子どもたちの様子をおつかいで報告しますと、年少児は体力のついていない子どもが目立ち、すぐに疲れたり集中力が無くなったりする様子が見られました。園庭で遊ぶ時間をとりつつ（長雨でなかなか取れない状況もありました）室内でも身体を動かす時間を意図的に設けて体力をつけてもらいました。

年中、年長児については休園の影響はそれほど見られず、再開を喜んで普通に友だちや先生とふれ合っていましたので、カリキュラムを予定通り進めることができました。

ただ、保護者の方がコロナに神経質になっているごく数人の子どもについては、登園時にしくしく泣いたり登園を渋ったりというような様子が最初の頃見られました。

子どもたちの運動不足による体力の低下などは7月後半には解消してきて、1ヶ月遅れの音楽会なども催すことができました。

子どもたちの日々も、手洗いや感染予防が定着したけれど、コロナに関して必要以上にピリピリした様子が無く、子ども同士のふれあいも新しい生活様式に適應してきたという印象です。

1 学期の活動中でいちばん緊張して綿密に計画を立てたのは、年長組の「お泊まり保育」でした。1泊2日で、バスに乗って90分ほどの朝霧高原へ行っての様々な野外活動と宿泊。「じぶんのことはじぶんでやる！」という目標のお泊まり保育は、子どもたちの経験として貴重で、この活動を通して自立心が高まる様子を何年も見てきただけに中止にはしたくありませんでした。宿泊する県立朝霧野外活動センターとのコロナ対策ガイドラインなどを盛り込んでの話し合いや、活動する養鱒場や牧場との調整を経て、なんとか実施の運びとなったのです。一週間以内に熱が出たら一発アウト！という職員も年長児の家庭も緊張の中、全員がクリアして行くことができました。しかも体調管理が良いものですから誰も体調を崩しません。こんなことははじめてのことでした。

2 学期からは、少し制限を緩和して保護者の参観や、外部講師のレッスンを再開したりして次の段階に移行したいと考えています。

参考になったのは、朝日新聞8月25日朝刊23面に掲載されていたウイルス学の専門家・西村秀一さんのインタビュー記事です。西村さんは「学校の感染対策、ずれてないか」と提言されており、感染予防に明け暮れて疲弊している教育現場や、子どもたちへの活動制限へ疑問を呈されました。

ゼロリスクを目指すより、リスクをどこまで許容しながらウイルスのことをよく知って、疲弊しない程度に効率良く感染対策に努め、子どもたちの学びのほうにちゃんと力を注ぎましょう。という内容で、まさに今必要なことだと共感しました。

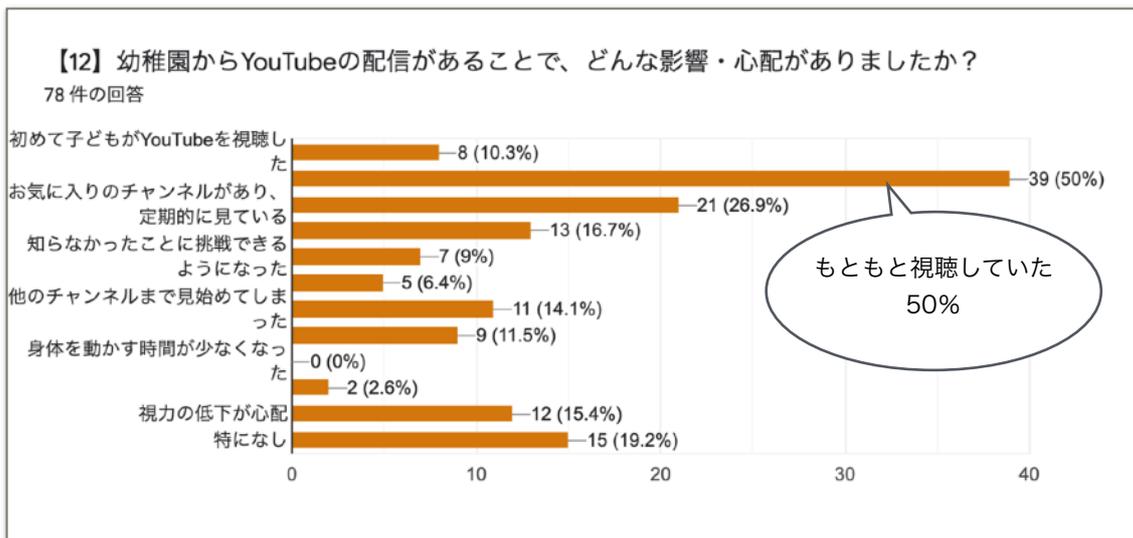
<https://digital.asahi.com/articles/DA3S14597410.html>

(有料会員記事)

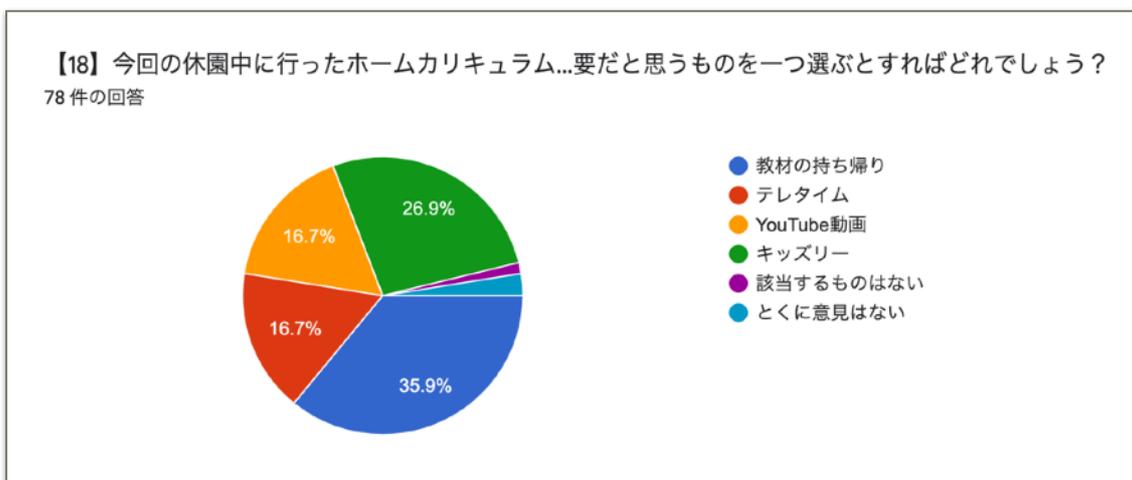
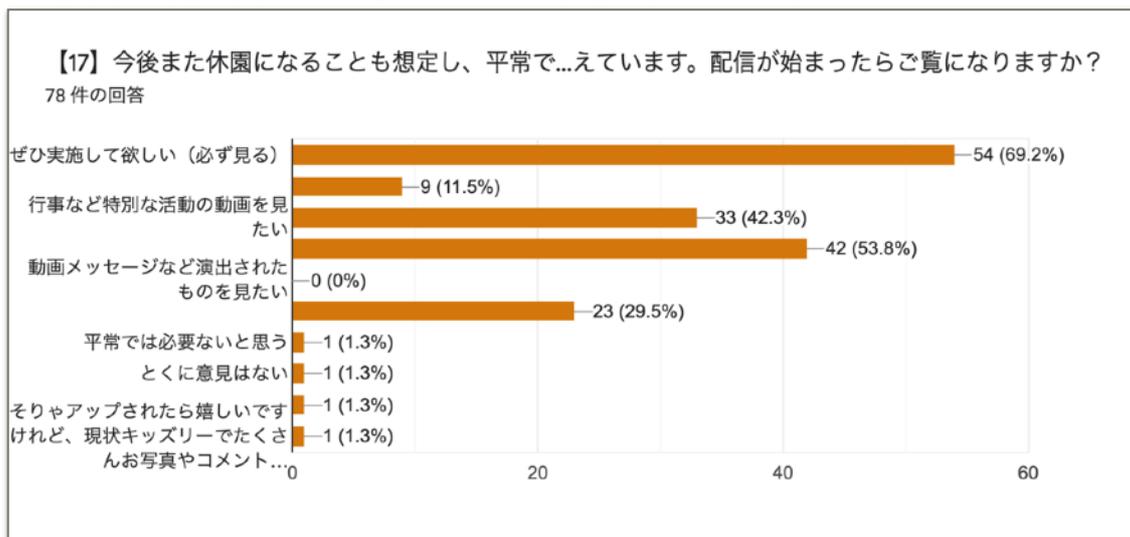
有料会員記事にはより詳しいインタビューが掲載されています。(転載できませんのでご了承下さい。)

再 度休園となったときの参考のために、休園について園の保護者にアンケートをとりました。問17では今後の動画活用について質問してみました、わりと期待値が高いですね。

問18では休園中に実施した内容について評価していただきました。オンラインでの一方的なコンテンツの配信より、双方向のやりとりができる教材が若干高かったようです。



【17】 今後また休園になることも想定し、平常保育でも参観ができない状況になっていますので補助的に動画を使えればと考えています。配信が始まったらご覧になりますか？



◆詳しい回答はこちらからご覧頂けます。 <https://forms.gle/MYSLkNM4NBnobiLAA>

前 回ご紹介した園で使えるICT環境について、追加でご紹介します。

6月以降の3ヶ月にもいくつか増えて、園でも動画配信のための撮影機材や編集ソフトのスキルアップはグーンと進みました。類似するアプリはたくさんあって、ここでの紹介は僕らが使っているほんの一部です。園の子どもたちに直接使って教育活動を行うことはほとんどありませんが、業務としては多くの通信系のアプリも今後活用していき、園の教育活動を発信していきたいと思います。

①	 https://www.buscatch.com/	有料	<p>幼稚園でいちばんベースに使っているソフト。 毎日の出欠やバス利用、バスの到着メール、預かり保育の申込、園からのお知らせやアンケートなど、アプリやメールを使っての通信手段が多機能で、重要な連絡でも手紙を添付してお知らせできるので、保護者へのほとんどの通知はこのアプリを使って行き、職員も内容を共有します。</p>
②	 https://kidsly.jp/index.html	無料	<p>無料バージョンの一部機能を使用しています。プリントで発行していた「クラス便り」を廃止し、各担任のブログ形式でその日の活動の様子を写真とコメントでお知らせし連絡事項も発信しています。そのほか園便りや学年だよりなどのプリントをPDFで配信しています。 父母だけでなく祖父母や親戚も申請すればどなたも閲覧できるようにしています。連絡帳機能を使用して保護者からのリアクションもできるようにしました。有料版は①バスキャッチと同様の機能があります。</p>
③	 http://www.nanotybp.jp/	有料	<p>園日誌、保育日誌、研修や業務の連絡など、職員間の連絡に使います。時差勤務の職員もこのツールで連絡事項を共有します。ちょっとした連絡を素早く伝えたいときは、職員LINEを使用します。</p>
④	 https://tenorino.app/ 沼津市私立幼稚園協会（一般公開可）の動画を見るにはインストール後に施設コード [865368583] を入れて下さい	無料 スマホ用なのでPC不可	<p>YouTubeでの動画配信をこちらに移行しています。園生活の様子を配信したり、絵本の読み聞かせ、歌、運動会の踊りなど、いろんなコンテンツを配信します。9月には敬老の日のイベントに祖父母を呼べないので、学年別に動画メッセージを配信する予定です。 メリットは簡単に動画をアップできることと、施設コードを発行するので限定した保護者など、限定グループを設定できることです。YouTubeにも限定公開がありますが、URLをいちいち知らせなければならぬ手間がかかります。てのりのはアプリさえインストールすれば、アップの通知もいきますのでとても便利です。無料で使えるのもとても良いので、園だけでなく沼津市私立幼稚園協会でもイベントで使っています。</p>
⑤	 https://twitcasting.tv/	無料	<p>保護者が園に来園できない状況で今までどおり行事活動を行いたい、その様子を見せたい！というときにいちばん適しているアプリを探したところツイキャストでした。もともとTwitter、Instagram、Facebook、LINEといった主要SNSは、園の情報発信に使っていますので検討したのですが「限定公開と長時間のライブ配信」が目的なら見る方のスマホにアプリがインストールされていて「合い言葉」を入れるだけで簡単にログインできるということで、8月の盆踊り会で使ってみました。結果は上々、2時間弱の子どもだけの夜の盆踊り会の様子を中継できました。今後も保護者会の様子など一方向から配信する場合は便利です。双方向のコミュニケーションが必要なときはZOOMでしょうか。</p>
⑥	 https://go.chatwork.com/ja/	無料	<p>幼稚園の職員間は③のnanotyを使っていますが、沼津市私立幼稚園協会や、プロジェクトチームと一緒に仕事をする場合のメールに変わる連絡方法として便利に使っています。 グループ分けができるので、それぞれの団体、チームごとに連絡の履歴をまとめて読むことができるのがメリットです。ファイルの添付もBOXという無料ソフトを使うとより便利にできます。</p>



原町幼稚園 園長 鶴谷圭一 (59)
HP : <http://www.haramachi-ki.ed.jp/>
MAIL : office@haramachi-ki.jp
Twitter : @haramachikinder
Instagram : haramachi.k

▶ご感想・ご意見ご質問等ありましたら

気軽に連絡ください。✉ office@haramachi-ki.jp

「幼稚園の現場から」ラインナップ

- | | | | |
|------|------------------------|------|-------------------------------|
| 第1号 | エピソード (2010.06) | 第22号 | 〔休載〕 |
| 第2号 | 園児募集の時期 (2010.10) | 第23号 | 大量に焼き芋を焼く (2015.12) 2019 |
| 第3号 | 幼保一体化第 (2010.12) | 第24号 | お話あそび会その1 (発表会の意味) |
| 第4号 | 障害児の入園について (2011.03) | 第25号 | お話あそび会その2 (取り組み実践) |
| 第5号 | 幼稚園の求活 (2011.06) | 第26号 | お話あそび会その3 (保護者へ伝える) |
| 第6号 | 幼稚園の夏休み (2011.09) | 第27号 | おもちゃのかえっこ (2016.12) |
| 第7号 | 怪我の対応 (2011.12) | 第28号 | 月刊園便り「はらっぱ」 (2017.03) |
| 第8号 | どうする保護者会? (2012.03) | 第29号 | 石ころギャラリー (2017.06) |
| 第9号 | おやこんぼ (2012.06) | 第30号 | 幼稚園の音楽教育 (その1・発表会) 2017.09 |
| 第10号 | これは、いじめ? (2012.09) | 第31号 | 幼稚園の音楽教育 (その2・こどものうた) 2017.12 |
| 第11号 | イブニング保育 (2012.12) | 第32号 | 幼稚園の音楽教育 (その3・コード奏法) 2018.03 |
| 第12号 | ことばのカリキュラム (2013.03) | 第33号 | 〔休載〕 (2018.06) |
| 第13号 | 日除けの作り方 (2013.06) | 第34号 | 働き方改革・一つの指針 (2018.09) |
| 第14号 | 避難訓練 (2013.09) | 第35号 | 働き方改革って難しい (2018.12) |
| 第15号 | 子ども子育て支援新制度を考える | 第36号 | 満3歳児保育について (2019.03) |
| 第16号 | 教育実習について (2014.03) | 第37号 | 満3歳児保育・その2 (2019.06) |
| 第17号 | 自由参観 (2014.06) | 第38号 | プールができなくなる!? (2019.09) |
| 第18号 | 保護者アナログゲーム大会 (2014.09) | 第39号 | 跳び箱 (2019.12) |
| 第19号 | こんな誕生会はいかが? (2014.12) | 第40号 | 幼稚園にある便利な道具〈紙を切る〉 (2020.03) |
| 第20号 | ITと幼児教育 (2015.03) | 第41号 | コロナ休園 (2020.06) |
| 第21号 | 楽しく運動能力アップ (2015.06) | 第42号 | コロナ休園から再開へ (2020.09) |